

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

【地籍】三島・大仁法務局管内地籍調査連絡協議会 が研修会を実施

東部


旧三島・大仁法務局管内の市町で構成される「三島・大仁法務局管内地籍調査連絡協議会」が12月4日（火）、株式会社フジヤマ（浜松市東区天竜川町）において、研修会を実施しました。

参加者は、リモートセンシング等を活用した近年の地籍測量や2項委託制度について学ぶとともに、自動追尾TS（トータルステーション）、MMS（車載写真レーザ測量）、UAV（無人航空機）といった最新の測量機器を見学しました。

今回の研修で学んだ最新の技術や制度の活用により、地籍調査の円滑な実施が期待されます。

東部農林事務所農村整備課 055-920-2165

権利者会議を開催しました（御殿場市高根西部塚原地区）

東部

12月6日（木）、高根西部塚原地区の権利者会議を御殿場市内で開催しました。権利者会議は、地権者一人一人の土地の権利を最終的に確定させる重要な会議です。

既に書面により議決をいただいていたにもかかわらず、それでも169人の地権者のうち、約半数の方が出席し、上程した4つの議案はすべて原案どおり可決されました。

今後は、換地計画の決定、公告縦覧等を経て、換地処分登記を行い、換地事務が終了します。

東部農林事務所では、引き続き、地元改良区、御殿場市、県土連と連携し、まずは年度末の換地処分に向けて作業を進めていきます。



東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

東部

ほ場整備に係る確定測量杭の確認を行いました
(御殿場深沢地区)

御殿場深沢地区は、平成22年度から区画整理を中心とした基盤整備を実施しています。当該地区はブロックが8つに分かれており、順次、工事等を進めてきましたが、12月13日（木）、最後に残った3つのブロックにおいて確定測量による杭の位置の確認を行いました。

時折、小雨がぱらつく生憎の天気でしたが、地元の土地改良区の換地委員らが参加し、5時間半ほどかけて作業を行いました。換地委員による議論や飛び入り参加した地権者の意見も踏まえ検討した結果、杭の追加または撤去の必要がある箇所が何か所かありました。

今回の作業による修正を経て、正式に各ほ場の面積が計測されることとなります。

東部農林事務所では、平成32年度中の換地処分を目指して、引き続き、地元の土地改良区、御殿場市、県土連と連携して事業を推進していきます。

東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

志榛

農業水利施設（瀬戸川右岸幹線用水路）の
監視・診断調査を実施しました

1 概要

瀬戸川右岸幹線は、建設後相当年数が経過しており、H21、H26～H29にかけて、監視・診断調査を実施しており、今年度は12月20日に調査しました。県と施設管理者（大井川土地改良区）が連携し、施設機能の監視、災害・自己リスクの高い箇所の算定を行い、対策工事の必要性について検討を行います。

2 調査結果

測定項目	調査数	調査結果
クラック	20	前回より若干劣化が進行
剥離剥落	3	前回より若干劣化が進行
空隙欠損	1	前回より若干劣化が進行
打継目地	5	前回より若干劣化が進行



3 効果

監視・診断調査を実施することにより、長寿命化対策を必要最小限の範囲で、機動的かつ迅速に推進する体制を整備することができます。

志太榛原農林事務所地整備課 054-644-9234

農業水利施設（下当間揚水機場）の監視・診断調査を実施しました

志榛



1 概要

下当間揚水機場は、建設後相当年数が経過したため、H21、H26～H29にかけて、監視・診断調査を実施しており、今年度は12月18日（火）に調査しました。県と施設管理者（大井川土地改良区）が連携し、施設機能の監視、災害・自己リスクの高い箇所を算定し、対策工事の必要性について検討しました。

2 調査結果

調査部位	測定項目	調査数	調査結果
建屋 壁 外面	ひび割れ	1	前回より若干劣化が進行
建屋 基礎 外面	ひび割れ	4	前回より若干劣化が進行
建屋 壁 内面	変形歪み	3	前回より変化なし
吐水槽 外面	圧縮強度	2	前回より変化なし

3 効果

監視・診断調査を実施することにより、長寿命化対策を必要最小限の範囲で、機動的かつ迅速に推進する体制を整備することができます。

志太榛原農林事務所農地整備課 054-644-9234

中遠農林事務所農地整備課で業務委託中間報告会を実施しました

中遠

中遠農林事務所農地整備課は、所管する業務委託の中間報告会を実施しました。

第1回の打ち合せ時に、従来は事務所の班長と担当職員で行っていた照査報告について、課長以下職員や若手技術職員も交えて行うことを事前に説明し、今回、業務の進捗状況や業務の課題等の確認と併せて実施しました。

具体的には、5業務・4受託者について、各管理技術者や主任技術者が30分以内で説明を行い、質疑応答を10分以内で行うというように、時間を区切ってスムーズな進行に努めました。

本会により、各業務の進捗状況や課題等の認識を発注者と受注者間で共有することができ、今後の円滑な事業進捗と高い事業効果の発現につながると考えられます。

中遠農林事務所は、今後も管内の農業をより活発なものとするため、地域の農業農村整備を積極的に行っていきます。



中遠農林事務所農地整備課 0538-37-2311

西部

「左官アシスト」の施工見学会を実施しました



浜松市南区にある下飯田用水路は、田畑への水不足を解消し、安定した用水を供給するために、県営かんがい排水事業（昭和45年～49年）で整備された基幹水利施設です。

しかし、完成から40年以上の年月が経過し、老朽化や経年劣化による漏水等が頻繁に発生するようになりました。このため、平成23年度より、西部農林事務所は水路の補修工事を実施しています。

平成30年12月13日（木）に下飯田用水路で開水路の表面被覆工事を機械化（自動化）した「左官アシスト」の施工見学会を実施しました。「左官アシスト」は、表面被覆工法のモルタルの吹付から荒仕上げに至る作業の8～9割程度を機械で施工し、左官職人の省力化や作業効率向上を目指した工法です。

見学会には農林事務所や土地改良区の職員等、農業用水路の補修や管理に関係する13名が参加し、左官アシストの構造や施工実績等について理解を深めました。

今後、左官アシストは、水路底面部やハンチ部の施工が可能となるよう、更なる改良を予定しています。計画的かつ効率的な作業の実現のため、このような工法が有効な技術となることを期待しています。

西部農林事務所農地整備課 053-458-7227

西部

中川地区最後の3号揚水機場が完成しました

浜松市北区細江町中川で実施している経営体育成基盤整備事業中川地区では、本年度、水田用水の供給のための3号揚水機場の整備を進めてまいりましたが、この程、ポンプ設備等が完成しました。

当地区は、151haの水田に農業用水を安定的に供給することなどを目的として、平成26年度から事業に着手し、揚水機場や管水路等の農業水利施設を整備しています。

本年度中に全ての管水路を完成させる計画であり、来春には、全ての受益地に安定した用水の供給が可能となります。

今後は、補正予算を活用した畦畔撤去による「ほ場の大区画化」も計画しており、持続可能な営農環境の早期実現に努めていきます。



西部農林事務所湖北事業課 053-458-7232

西部

年末に向け工事安全パトロールを強化しました



西部農林事務所は、農業農村整備、治山、林業等、多くの建設工事を発注しています。

年末年始においては、受注者も長期休暇に入るため現場作業が休工となり、現場の安全管理を常時実施できない状況になります。

そこで、年末の工事安全パトロール強化として、平成30年12月14日（金）に「浜松労働基準監督署」と農林事務所合同による「工事安全パトロール」、平成30年12月20日（木）には「中遠農林事務所検査監」による事前予告なしの「抜打ち工事安全パトロール」を実施しました。

発注者、受注者の双方で、安全管理に対する意識を再確認することで、労働災害が発生する可能性を低減するとともに、工事現場周辺の一般県民の方々に安全・安心な新年を迎えていただけるように努めています。

西部農林事務所農地整備課 053-458-7227・7228

「1都道府県1動画づくり」～優良事例地区をドローンで空撮～

県庁

農林水産省は、全国の農業農村整備のPR動画を作製するNN広報プロジェクト2018「1都道府県1動画づくり」を推進しています。

動画作成に当たって、農地計画課は、平成9年から平成28年にかけて県営畑地帯総合整備事業を実施した「原・新丹谷地区」の紹介動画を作製することとし、11月下旬にドローンによる空撮を行いました。

本地区は、かつて狭小かつ急傾斜な樹園地でしたが、基盤整備による大区画化・平坦化を進め、高品質ミカンの生産と作業性の向上を実現しました。また、大規模なミカン園と駿河湾を望む景観が素晴らしく、平成24年度に静岡県景観賞最優秀賞を、平成28年度に農業農村整備優良地区コンクール農村振興局長賞を受賞しています。

PR動画では、ドローンで撮影した美しい景観とともに事業実施後の営農効果を解説し、静岡県の取組を広く紹介したいと考えています。

農地局農地計画課 054-221-2723

